

# 近畿本部経営工学部会 平成 25 年 10 月 定例部会および研修会議事録

開催日時：平成 25 年 10 月 19 日（土）13:30～16:45

開催場所：公益社団法人日本技術士会 近畿本部会議室

出席者：20 名

司会進行：幹事 荒井一彦、坂井剛太郎

配布資料：①平成 25 年 10 月度定例部会（研修会）議事進行表 ②出欠者名簿  
③経営工学部会・業務研究会 11 月度合同見学会のご案内  
④研修会講演配布資料 ⑤兵神装備株式会社 会社案内  
⑥C P D 行事参加表

紹介資料：①カーボンマネージャー「キャリア段位制度」案内資料  
②オムロン綾部工場紹介記事（日経ものづくり 5 月号抜粋）  
③技術士全国大会（札幌）資料

初参加者紹介：大西祥作技術士（機械部門）1 名

## 1. 研修会

(13:40～15:50)

### (1) 開会挨拶（増田部会長）

「前回の研修会の講演は、『人材育成』がテーマであったが、この中にスキルマップ活用の話があった。最近ではエネルギーの時代を象徴する『キャリア段位制度』のような資格も出来ていて、資格時代が加速されて来ているように思う。資格試験は好きではないが、技術士資格取得の時良かったと思うことの一つに、普段は学ばない基礎を学んだことにあったと思っていて、資格勉強もその意味で有効かと思っている。本日は三浦先生から『品質保証活動』のご講演をいただくが、楽しみにしている。参加の皆様の活発な意見交換を期待しています。」

### (2) 研修会

講演者：三浦卓司（みうら たかし）

兵神装備株式会社 品質保証推進室

技術士（機械部門）

テーマ：『産業機械（受注生産事業）における品質保証活動』



講演概要： 自己経歴・会社概要紹介の後、その分野ではシェア 90%を占める一軸偏芯モノポンプ（高粘度流体移送ポンプ）の概要・用途等について

て説明。この製品の受注生産事業における、日常の品質マネジメントシステムの維持管理に加えた、特殊設計・生産に起因する変化球的な品質問題に対応できる仕組みや組織体制構築への取り組みや、なかなか顕在化されない顧客の要望を読み取りフィードバックする、製品開発における取り組みについて説明があった。

講演後は、製品材料・価格、資格保有者数、資格取得におけるインセンティブ、開発スケジュール管理、受注から出荷までのリードタイム、CAD・データベース・スケジュール管理ソフト、営業における不具合対応など、参加者からの活発な質疑や意見交換が行われ、経営工学分野における、広範囲な知見を広めることができた。

## 2. 部会報告・予告

- (1) 部会活動報告（前回以降） (16:00～16:10)
  - ① 前回研修会：25年8月10日(土) 於 近畿本部会議室  
荒井一彦技術士（経営工学） オムロン株式会社 専門職技師  
「企業内（生産系）技術人材育成の取り組み」 参加者 29名
  - ② 第40回技術士全国大会：10月3日～6日「北の大地から明日の日本を拓く」  
参加者：坂井幹事
- (2) 経営工学部会行事予定 (16:10～16:30)
  - 原則偶数月第三土曜日、部会 13:30～17:00、幹事会 12:15～13:15
  - ① H25年12月度・忘年会：12月14日(土)  
辻本攻技術士（経営工学）「モノ造りマネジメントの『全容』と『基本』」
  - ② H26年2月度：26年2月15日(土)（予備8、22日）  
真野仁孝技術士（経営工学）「食品製造工程における品質管理」（仮題）
  - ③ H26年4月度兼総会：26年4月19日(土)（予備12、26日）  
村島繁延技術士（経営工学、総合技術監理）  
「品質工学から見た技術開発の効率化」（仮題）
- (3) 統括本部及び近畿本部行事予定 (16:30～16:45)
  - ① 第19回西日本技術士研究・業績発表年次大会：四国本部主催  
10月25日(金)～26日(土) 於 高知市高知会館
  - ② 2013日中科学技術交流シンポジウム：近畿本部・上海市科学技術協会主催  
11月29日(金)～30日(土) 於 京都市 参加申込期限11月8日(金)
  - ③ 地域産業活性化支援実行委員会「技術士が実施した地域産業支援事例」募集  
応募期限12月25日(水) ※登録メンバーにはメールにて配信済み
  - ④ 地域産学官と技術士合同セミナー（予定）：H26年1月下旬 於 OSTECH

## 3. 自由発言・その他

- (1) 府大高専「企業経営」講座：5年生（6クラス180名）を対象に5年目。  
9月末で終了。テキスト共同執筆中。
- (2) 亀岡サイエンスフェスタ：10月26日(土) 於 ガレリアかめおか  
「リトマス紙を作る」 徳永技術士、池田技術士が参画

以上（文責：坂井）